

第 1 回 大阪府ギャンブル等依存症対策推進会議 議事概要

- 日 時：令和 4 年 11 月 30 日（水） 14：00～15：51
- 場 所：国民會館 大ホール
- 出席委員：伊東委員、上野委員、梅田委員、子安委員、佐古委員、ソウマ委員、辻本委員、永井委員
長尾委員、中島委員、新川委員、平川委員、藤井委員、松下委員
- 議 事：（1）会長の互選について
（2）第 2 期大阪府ギャンブル等依存症対策推進計画（素案）について
（3）その他
・ギャンブル等依存症対策基金について（報告）

■議事結果：

- 委員の互選により、長尾委員を会長に選出した。
- 第 2 期大阪府ギャンブル等依存症対策推進計画（素案）について、委員の意見を踏まえ、各重点施策の個別目標を再考することとする。

■主な意見：

【各重点施策の目標値について】

- ・目標値が全体的に曖昧という印象。
計画期間中、毎年度どれだけ増加するのか、定量的な目標を設定してほしい。
- ・目標値の考え方として、重点施策①であれば、現状で既に 9 割以上が理解できている。
理解度を上げるよりも、授業を受けた生徒の数を増やす、という観点で考えてはどうか。
一方で、重点施策②では、府民 880 万人に対して低すぎる。めざす姿につながるような目標値を検討してもらいたい。
- ・「（仮称）大阪依存症センター」の整備について、IR が認定されなければ目標自体がどうなるのか不透明。令和 7 年度までの明確な目標を設定してほしい。

【具体的な取組みについて】

- ・困っていた時に必要な支援につながらずに苦しかった記憶がある。
そういう当事者の声や経験を広く発信してほしい。
- ・ギャンブル等依存症に対応する医療機関は少なく、受診待ちが発生している。
自助グループを有効に活用してもらいたい。
- ・依存症に悩む方には長期的な支援が必要。障がい者施策など他施策との連携も重要。
- ・養成した人材をどのように活用していくのか、その点も検討してほしい。
- ・公営競技主催者が取り組む予防策として、インターネットでの購入についても検討してほしい。

【その他】

- ・全体目標の指標として、SOGS 3 ～ 4 点の人を含めることはとても重要。

- 計画を実効性のあるものにするためにも推進会議でしっかり進捗管理を行うべき。
- 「（仮称）大阪依存症センター」について、カジノ財源を通じてカジノ事業者からの影響が強くないよう配慮してほしい。
- ギャンブル等依存症によって発生する社会的損失について調査してほしい。